

蕪 崎 市 消 防 団 新 聞

Nirasaki volunteer fire corps

消防組織法第9条により、消防団の設置が義務付けられており、蕪崎市では、昭和29年11月に、「蕪崎市消防団設置条例」により設置され、特別職の地方公務員として位置づけられています。

蕪崎消防団は現在、11分団46部で編成されており、712名の団員が活動しています。(H29.11現在)

消防団は、自らの手で災害から郷土を守ろうとする精神に基づき、住民有志により組織されています。普段は各自の職業に従事しながら、消火活動や火災予防活動はもとより、地震などの大規模災害発生時においても、地域住民の救助や復旧活動に大きな期待が寄せられています。

東海地震などの大規模災害が発生した時には、消防本部や消防署だけでは、地域住民全体の安全を確保することは難しく、災害から住民を守るためには、より地域に密着した消防団を中心とした地域防災力の強化が必要です。自分たちの街を愛する一人ひとりが力を合わせれば、万が一の際にも被害を最小限に抑えることができます。

2017年12月26日号



消防団活動ダイジェスト
『身近に感じる消防団』
普段見ることのできない活動の特集



川倉工法



積土のう工法



三角柱工法



木流し工法

水防訓練



ポンプ車



防災運動 火予運



市 団 間
防 火
新 消 防 団

Nirasaki
volunteer
fire corps




ソフト ボール大会

私たちが消防団を日頃から支えていただいております市民の皆さんに、日頃の活動をご紹介します中
で身近に感じていただけるよう、昨年に引き続き消防団新聞を発行いたしました。
消防団新聞を通じてより多くの方に、消防団について興味をもっていただければ幸いです。
これからも、一層のご支援を賜りますよう、よろしくお願いいたします。



地域の中で

消防団員募集

Recruitment

あなたの力を消防団に



葦崎市に在住、または勤務する18以上の方であれば入団いただけます！
みんな普段は、自分の仕事に携わりながら、「地域の仲間」で助け合い活動しています。
詳しくは、各地区の消防団員か市総務課まで。

お問合せ 葦崎市総務課 防災交通担当
0551-22-1111 (339、399)

実用的な技術習得、そして継承へ・・・

平成 29 年度山梨県消防協会
峡北支部水防訓練

No.1

平成 29 年 6 月 17 日 (土) IN のろしの里ふれあい公園

台風シーズ

ンを前に、消防団と消防本部が密接な連携を図り、発災時に迅速かつ確実に対処できるように水防技術の向上と、地域住民の水害に対する啓蒙と防

災意識の高揚を目的として、隔年で実施されています。

今年には北杜市を会場に、消防本部、北杜市消防団と合同で、約 100 名の参加者の中で訓練が実施されました。訓練は、川倉・積土のう・三角棒、木流し工法を実施し、実践的な内容に責任感を感じながら真剣な表情で取り組んでいました。

各工法の実施訓練を行う中で、『難しい』『もっと強く締めよう』など、試行錯誤しながら、実際に使える技術として習得しようとしている姿から、『地域の安心』がうかがえました。

近年の災害が、大規模・多様化している中で、消防団には火災だけでなく、風水害への対応も期待されています。このような訓練を定期的にを行い、**技術の習得・継承**していくことが大事になると、参加した団員さんの口々から聞こえてきました。

大規模な災害を 想定した合同訓練



北杜市と連携しながら

北杜市と連携しながら
で、町の垣根を越えて、火災等の災害に立ち向かわなければ、地域の安心・安全は守れません。そのためには、日頃から、コミュニケーションを取り合う事が必要になります。仕事の傍ら消防団活動を行っている団員さんには、ハードルが高いくともいけません。市では、そんな状況の解決策の一つとして、毎年親睦ソフトボール大会を行っています。

葦

葦崎市消防団という組織の中

葦崎市消防団

親睦ソフトボール大会 開催

平成 29 年 6 月 18 日 (日) 葦崎市宮総合運動場

大会当日は、町対抗で普段交流の少ない団員同志が、試合を通じて親睦を深めている様子で、試合後の団員さん達の笑顔が印象的でした。今大会では、ご家族を連れて参加された団員さんもあり『がんばれ〜!』の声援が会場中に広がり、団員だけでなく、家族との親睦を深める機会となりました。



家族で参加された団員さん

大きな声で
いっぱい
応援して
くれました。

No.2

火の用心

ことばを形に 習慣に



消防車でパレード実施

No.3

火災予防週間 (春：3/1~7) (秋：11/9~15)

平成 29 年 11 月 11 日 (土) IN 葦崎市内

この運動は、火災が発生しやすい時季を迎え、火災予防思想の一層の普及を図ることに、より、もって火災の発生を防止し、高齢者を中心とする死者の発生を減少させるとともに、財産の損失を防ぐことを目的として、全国で毎年行われています。春にも

同様の運動を行っており、年間、2 回火災予防運動を実施しています。

葦崎市消防団では、期間中に巡回、打鐘を実施し、火災予防の啓蒙活動を行います。この時期になる

幼年消防クラブによる 火災予防啓蒙 イベント 2017.11.9



■ 葦崎東保育園の皆さん

と、消防団による『カーンカーン』という鐘を突く音や、消防車での巡回による警鐘の音などの『安心の音』が鳴り響いています。

また、市内全域を消防ポンプ自動車でパレードし、火災予防を呼びかけています。

このような活動を消防団員は、仕事終わりの後、休日関係なく行っており、一件でも火災が減るよう、地域住民の財産を守るため活動しています。

竜岡消防フェスタ

葦崎市消防団竜岡分団

No.4

平成29年11月5日(日) IN 竜岡中央公民館・若尾新田公民館

消防団活動

動に対する住民の方の理解を深め、地域の防災力を向上させることを目的に、昨年からは始まった『竜岡消防フェスタ』が11月5日(日)に開催されました。

昨年度からさらにパワーアップした内容で、多くの家

地域の中で

- 消防団ができること
- 消防団の存在
- 消防団に求められること
- 消防団を考える

—— さあ！パトロールに出発だ!!



家族連れが来場し、会場には笑顔があふれていました。

中でも、はしご車が展示され写真撮影ができるコーナーは大迫力。子供から大人まで興奮した様子で楽しんでいました。

また、昨年も好評だった、消防車両に乗り地域をパトロールするコーナーでは、行列ができるほどで、前年を上回る大盛況でした。乗車時には、子供用の消防団法被を着用し、未来の消防団員が目をキラキラさせてパトロールへ出発する姿に、地元消防団員もやりがいを感じていました。

その他にも、家族連れの来場を想定して、お母さん向けのブース

や、屋台ブースが用意されていたりと、『地域住民を笑顔にしたい』『消防団活動への理解を深めてもらいたい』という、団員の熱い思いが伝わる消防フェスタになりました。



—— 団員も一緒に楽しく!!

れる、ホタル祭りでは消防団が欠かせない存在として活躍しています。多くの催し物の中でも大盛況な餅つき体験コーナー。消防団員が地域との交流として、子供と一緒に餅をつき、出来上がった餅を子供たちに無料で配付していました。団員は『育成会の一つの活動として、消防団が地域の子供たちの活動を応援している。消火活動だけでなく、自分が生まれ育った地元を元気にしたいという気持ちから継続して行っている。』と胸を張っていました。ホタル愛護会の方も、祭りの最後まで警護を行っていた消防団の姿に感謝していました。

小田川ホタル祭り 葦崎市消防団中田分団
平成29年6月10日(土) 柳原神社境内前広場

No.5

小田川地区では、昭和61年から『小田川ホタル愛護会』を中心に、人・ホタル・地域の関わりを深める住民活動を行っており、平成元年には環境庁(現在 環境省)から『ふるさといきもの里』の地域指定を受けるなど『ホタルの里』が定着しています。この地区で行わ



—— よいしょ、よいしょ!!